

ロンドン初めて物語



2017年4月29日(土)～5月5日(金)



ロンドン市内のゆかりの地



① ガールスカウト世界連盟

★地下鉄 Belsize Park 駅

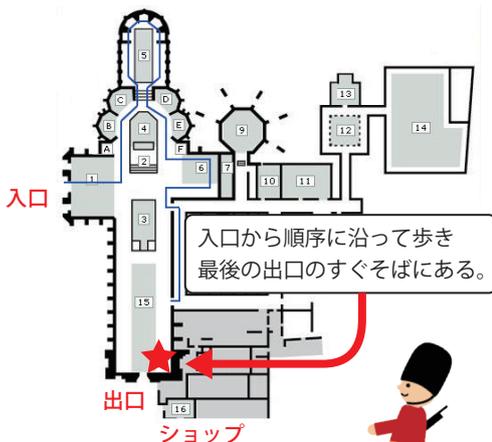
パックスロッジの左隣にある2階建ての白い建物。中は白で統一されていて、オレブの写真が飾られている。



③ ウェストミンスター寺院

★地下鉄 Westminster 駅

イギリスの歴代王や著名人の記念碑がある。B.P. とオレブ夫妻の記念碑の場所には、ボーイスカウトとガールスカウトの旗がある。写真撮影は禁止。



入口から順序に沿って歩き最後の出口のすぐそばにある。

⑨ ガールスカウト UK 連盟

★地下鉄 Victoria 駅



⑤ B-P House

★地下鉄 South Kensington 駅

B.P. の大きな銅像があるホステル&会議室の建物。B.P. ゆかりの展示品はここにはなく現在はギルウェルパークに移った。



② トラファルガー広場

★地下鉄 Charing Cross 駅

2010年10月に英国でのガイド運動100周年を記念して全国のスカウトが広場に6000人集まりがお祝いをした。4頭のライオンに登れるかな？



⑥ 9 ハイドパークゲート

★地下鉄 High Street Kensington 駅

B.P. が住んでいた場所。英首相のチャーチル卿の亡くなった場所としても有名。



④ Our Ark-11-13 ★地下鉄 Victoria 駅 パレスストリート

1930年代初期、World Bureau of the Association が設立され、ロンドンに建設されました。パレス・ストリートに初めてのワールドセンターができ「Our Ark」という名前でした。

⑧ 旧オレブハウス 45 Longridge Road

1956年までに21年間のリースが終了。世界連盟とワールドセンターは45 Longridge Road、Earl's Court の建物に移った。

⑦ ケンジントンオリンピア ★地下鉄 Kensington Olympia 駅

第1回世界スカウトジャンボリーが1920年にオリンピアで開催された。この大会でB.P. が世界の創始者となった。



① Pax Lodge

パックスロッジ



【住所】 12C Lyndhurst Rd, Hampstead NW3 5PQ UK

【電話】 +44 20 7435 2202

【料金】 £24 ~ £28(4人 ~ 8人) £78 ~ £110(1人 ~ 2人バス付)

【行き方】 地下鉄 Northern Line の Belsize Park 駅下車、徒歩 10分。
駅を出て右の坂道を登っていきます。
バス停 Rosslyn Hill が近くにあります。



Belsize Park 駅

1 階

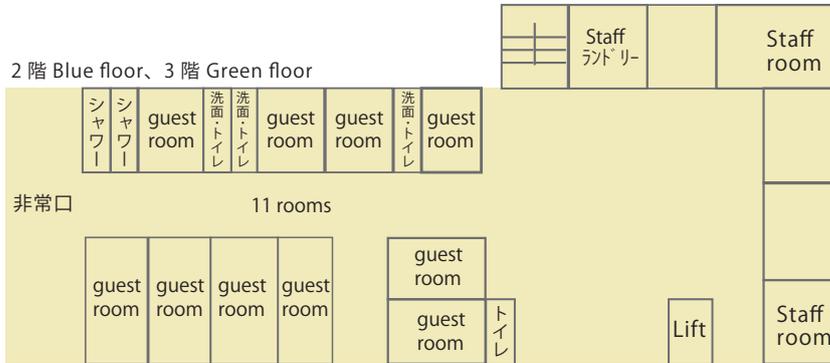


common room と会議室は活動や会議をする場所です



会議室小

2 階 Blue floor、3 階 Green floor



玄関すぐがロビー赤いポストとデスクがあります



朝食は食堂でセルフサービス



ロンドン名物の赤い公衆電話は階段に、でも使用できません



London Room は談話室
テレビ、ギターでリラックス



7人部屋は2段ベッドが3つ+1ベッド



9:00 朝のセレモニータイム



ランドリーは staff のみ



シャワー



3 階の廊下



洗面・トイレ

ロンドン市内・郊外



② Crystal Palace クリスタルパレス

★ Crystal Palace 駅

1909年、ロバート・バーデン・パウエルは、クリスタル・パレスでラリーを開催した。その時、バーデンパウエルの質問に少女たちは「私たちはガールスカウトです」と宣言した。彼は女の子のための活動を考えることになった。1910年にガールスカウトが誕生し、ロバートの妹アグネスが責任者となりました。その後、ロバートと結婚したオレブがガールスカウトを引き継ぎ、ガイダーとなった。



Crystal Palace 駅



少女たちが声をあげた広場



広場がいくつかある。恐竜のモチーフもいっぱい。



ガールスカウト 100 周年に作ったグリーンの迷路の中央のゴール。

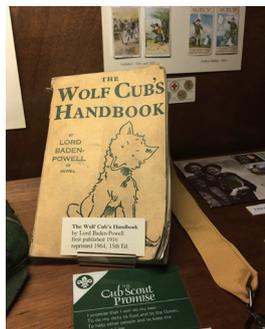
ウィンドミル

③ Windmill ★Wimbledon 駅下車、93 番バス Parkside Hospital 停留所下車。徒歩 10 分

1908 年にベーデン・パウエルが「Scouting for Boys」を執筆した場所。水車小屋の近くで執筆をしたと言われている。広大な草原と森に囲まれたところに水車小屋がある。中は博物館になっていて、水車の歴史が展示されている。2 階に B.P. が執筆したボーイスカウトの資料と、初めてガールスカウトを宣言した少女たちの写真やベルト、冊子なども展示されている。



入口のボード



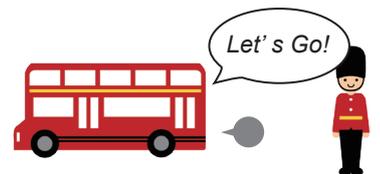
「Scouting for Boys」



当時の部屋を再現



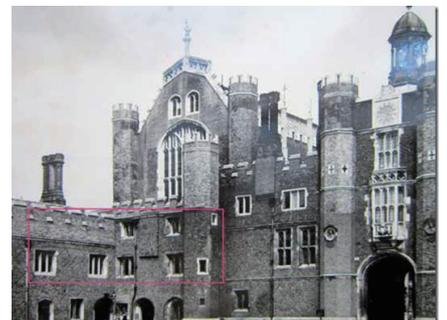
ガールスカウトの資料



⑥ Hampton Court Palace

ハンプトン コート パレス

オレブ・ベーデン・パウエルの最後の住まい。



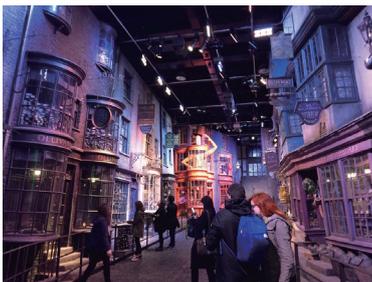
※赤く囲った場所あたりがその部屋



ハリーポッタースタジオ

★Wartford Junction 駅下車、専用バスあり

事前にネット予約が必要。1人£37。16時最終で予約したら混んでなくてゆっくり見ることができた。最終時間がおすすめ。体験型で楽しめる。



パックスロジでチャレンジできるバッジ

※2017年5月現在



●ロンドンバッジ

ロンドンのガールスカウトゆかりの地を訪れてミッションを遂行する。ウィンドミル、トラファルガー広場、バッキンガム宮殿など観光地も多い。



●ハリーポッターバッジ

ハリーポッターの映画のゆかりの地を訪れる。キングスクロス駅のホームのオブジェは有名。

⑤ Gilwelpark ギルウェルパーク

★ Chingford 駅



駅からゆるい坂道を歩いて 30 分過ぎ、高級住宅街を抜けると林の中に看板 **A** を見つけた。ギルウェルパークの門をくぐり、事務所 **B** にくくと 1 人の青年がいて、マンツーマンで敷地内を案内してもらった。

開設当時の時計台 **C** が現存している。敷地内にはアスレチックもいくつかあり、時間になると集合してボランティアスタッフが連れて行ってくれる。グッズ販売 **D** のショップがある。

テントサイト、ファイヤー場もあり、ここは 1 人でも宿泊可能である。隣接のホワイトハウス **E** には食堂もある。ホワイトハウスはホテルや会議室として利用されている。利用客がいなかったので室内を見学させてもらった。Founder's room, Betty Clay's room もちゃっかりのぞいてきた。

2020 年に B.P. ミュージアムを作る予定で、現在は関連資料を BP ハウスなどからこちらに集められている。非公開のため、有名な角笛を見たかったけれど断念した。3 年後にまた来てと言われる。ホワイトハウスの裏手には、ウッドバッジのトレーニングの広場 **F** や ロンドンブリッジ改築のとき持ち込んだという橋の欄干 **G** があった。



A 看板まで 30 分歩く ギルウェルパークの入口の門



パーク内のボランティアスタッフ



B 案内してくれた青年



トレーニング広場
各種アクティビティ

C 開設当時の時計台



D ショップ内の様子



E ホワイトハウス外観

F トレーニング広場のビッグツリーの前で



ファイヤー場

キャンプサイト



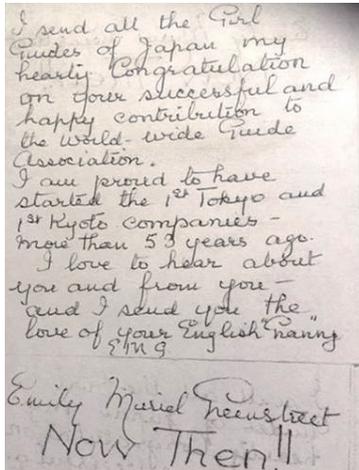
G ロンドンブリッジの昔の欄干



Mrs. Greenstreet ミセス・グリーンストリート

1919年(大正8年)に来日し、日本にガールガイド運動を伝えてくれたイギリスの宣教師だったグリーンストリートさん。
東京の香蘭女学校にて、イギリスのガールガイドの日本支部となる「日本女子補導団第1組(ガールガイド東京第1組)」を発足させました。

朝野に宛てた本人からの手紙



原文

I send all the Girl Guides of Japan my hearty. Congratulation on your successful and happy contribution to the World-wide Guide Association. I am proud to have started the 1st Tokyo and 1st Kyoto companies - more than 53 years ago. I love to hear about you and from you - and I send you the love of your English "Granny"
Emily Muriel Greenstreet
Now Then!



全ての日本のガールスカウトに私の想いを送ります。あなたの成功と世界連盟への貢献をお祝いいたします。
東京で最初の、そして京都で最初の団を発足させることができたことを誇りに思っています。53年以上も前のことです。
みなさんの身の回りの出来事をあなた方から伺えることを嬉しく思っております。そして、あなたのイギリスの「おばあちゃん」より愛を送ります。
エミリー・ムリエル・グリーンストリート
それでは！



④ グリーンストリートさんのお墓

WOKING CREMATORIUM ウォーキング クレマトリウム

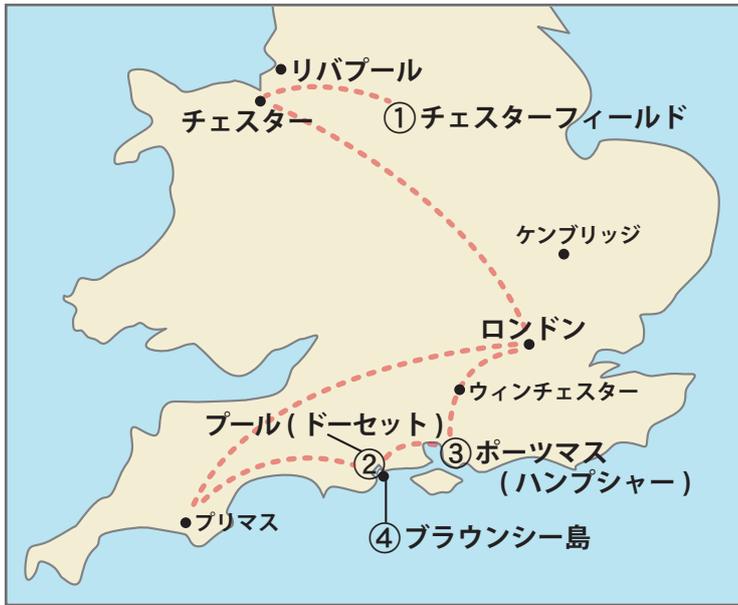
ロンドンから1時間ほど電車に乗り Woking 駅下車。その後、タクシーカバスに乗る。→

グリーンストリートさんが眠る墓地。イギリスには墓碑がある昔からの墓地と散骨タイプのガーデンングになっている墓地があり、彼女の希望で散骨となりました。
ここは木や草花で囲まれています。

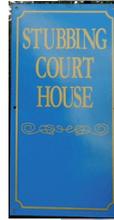
子どもたちの眠るエリアのそばのスイセンが咲く辺りで、彼女が好きだったりんご酒とチョコレートを提供してミニセレモニーを行いました。



イギリス北部、南部のオレブ&ベーデン ゆかりの地



① Chesterfield チェスターフィールド



生まれた場所
敷地には入れず
遠くから眺める



1歳で引っ越した家の後
誕生の碑だけがある



オレブの3軒目の家の前で

② Poole, Dorset (プール ドーセット)

オレブが少女から女性になるまで住んでいた場所。

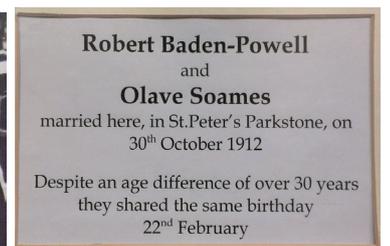
裕福な家庭で育ったオレブは、後にベーデンパウエルと結婚する。二人が結婚式を挙げた古い教会もある。



B.P. とオレブが結婚した教会



結婚の写真と結婚証明書



オレブが結婚するまで住んでいた家



オレブの家の近くの駅
B.P. が通っていたと言われている

③ Portsmouth, Hampshire (ポーツマス ハンプシャー)

イギリスの南の港町。

B.P. とオレブを乗せた船が、この遠い海峡を渡って行った・・・と想像する。



ポーツマスには丘の上に Fort NELSON という古い博物館がある。ネルソン提督と武器が展示されている。

ウィニーのお墓参りに行く。彼女との出会いがなければ、イギリスのガイド達や今回の訪問もなかった。

こちらは土葬で墓碑を立てるタイプの墓地。墓碑は埋葬してから3年ほど経たないと立てないので、ウィニーさんの墓碑はまだない。



④ Brownsea Island (ブラウンシー島)

ボーイスカウトが初めてキャンプをした有名な小島。1907年8月初旬、ロバート・ベデンパウエルと20名の少年たちがこの島で8日間の実験キャンプを行ったのが始まり。それを記念する石碑が立っている。島にはブラウンシー野外劇場がある。プールという船着き場からフェリーが出ている。便数が少ないので島に渡るなら1日かけてがよい。プールのパブには当時の写真などが飾られている。



直線で2kmの小さい島



この船にのって島に渡る



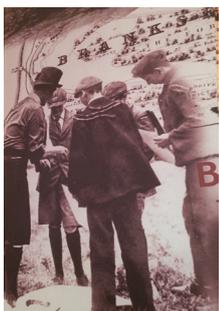
切符売り場



船着き場にある B.P. の像と

船着き場のすぐ前の THE QUAY というパブには、昔の写真が飾ってある。

B.P. がボーイスカウトとキャンプに行った時の写真も奥に数枚あった。



ブラウンシー島が見える丘で



Schedule



| | | |
|---------------------------|---|---------------------------------------|
| 4月13日(土) 4月28日(土) | Knob . . . Chester (visit Guides) Chesterfield | English in Chester Elizabeth's son |
| 4月29日(土) | Knob . . . B.P. memorial points(London) | Limehouse |
| 4月30日(日) | Windmil Big Ben, Westminster(London) | PaxLodge |
| 5月1日(月) | Knob . . . Gilwelpark, King's Cross ST. MK . . . Westminster, Buckingham British Museum, National Gallery Connie . . . Free | PaxLodge |
| 5月2日(火) | Crystal Palace Harry Potter studio London Bridge, Tower Bridge | PaxLodge |
| 5月3日(水) | Buckingham Palace UK Guide Shop afternoon tea(The Ritz) | Elizabeth Warren |
| 5月4日(木) | Poole Dorset Brown Sea Island Winchester | Helen Scaiff |
| 5月5日(金) | Greenstreet's Crematorium Winnie's grave Portsmouth Hampshire | Sarah Woodman |

Our Members



Challengers



Knob(朝野伸子)
のぶりん



MK(三富圭子)
けいこりん



Coinnie Gueits
コニー



未来ちゃん&UKブラウニー

UK Collaborators (Guiders)



Elizabeth Warren



Helen Scaiff



Sarah Woodman



Sylvia Foster

Japanese advisers



ナナリー(角折なな)



おかちん(岡田千裕)



まる(野村庸子)



エダサコ(枝迫七海)

UK ガイダーたちとの出会い (1)



1919年の資料。日本にガールガイドが伝わった年。こうした歴史的なものが壁一面に飾られている。

1st Upton

建物はこの団の所有で台所と他に3部屋ある。キャンプ用品も歴史の資料も保存している。(うらやましい!) 2人のリーダーはボランティアでキャンプ場の管理をしている。新しくセンターを建設するためにスカウトショップを運営している。



集会場内に道具の保管場所がある



クラフト売ってセンターの資金にする彼女のお店



Chester forest 代表 (支部長)
County Commissioner



200 Chester forest のキャンプ訪問の時の私たち日本からのお土産が大切に保管されていた

代表 (左から二人目) と連盟キャンプスタッフリーダー達

UK ガイダーたちとの出会い（2）



連盟キャンプ参加スカウト



初めて尋ねた教会所属の団 St Mary



Chesterfield で出会ったトレフォイルのガイダー達が案内してくれた



Linda の団
ママもリーダー。この集会場は今年で取り壊し
新しいところを物色中とのこと



Elizabeth の息子夫妻



夜の集会に連れて行ってくれた



Photos



Photos

